

和歌山縣報

第千四百四十號

明治四十五年一月二十一日

○告示

○和歌山縣告示第二十號

左記狩獵免狀明治四十五年一月十日縣下海草郡岡崎村山林内ニ於テ出獵中遺失ノ旨届出タリ
明治四十五年一月二十一日

記

和歌山縣有田郡五西月村大字瀬井

三百八十一番地 岡本爲楠

鳥第八四號

乙種三等狩獵免狀

明治四十四年十一月二十日下付

○和歌山縣告示第二十一號

左記狩獵免狀明治四十五年一月六日縣下有田郡鳥屋城村大字長谷川字狼谷山林内ニ於テ出獵中遺失ノ旨届出タリ

明治四十五年一月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

記

鳥第八六號

乙種二等狩獵免狀

明治四十四年十一月二十一日下付

和歌山縣有田郡鳥屋城村大字金屋
六百〇四番地

片畑孝太郎

○和歌山縣告示第二十二號

畜牛結核病豫防法第一條第二條ニ依リ明治四十五年三月二十日ヨリ和歌山市内ニ於ケル畜牛ノ檢査ヲ行フ

明治四十五年一月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二十三號

大阪府豊能郡北豊島村大字神田ニ於テ客年十二月三十一日雜種牝牛一頭氣腫痘ニ罹リ斃死セシ旨通知アリタリ

明治四十五年一月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣告示第二十四號

日高郡名田村大字上野千五百四十二番地
閉業産婆

磯本シグノ

右ノ者今般死亡ヲ旨テ以テ取消願出ニ依リ本日、和歌山縣産婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治四十五年一月二十一日

和歌山縣知事 川村竹治

○ 辭 令

○ 明治四十五年一月十八日

和歌山縣水産試驗場書記兼和歌山縣水産講習所書記ニ任ス

月俸拾五圓ヲ給ス

顧ニ依リ職務ヲ免ス

御用濟ニ付解雇

六級俸ヲ給ス

六級俸當分月俸四拾八圓ヲ給ス

七級俸ヲ給ス

七級俸當分月俸四拾參圓ヲ給ス

八級俸ヲ給ス

月俸拾四圓ヲ給ス

○ 明治四十五年一月二十日

内務部會計課兼務ヲ命ス

水産試驗場書記兼水産講習所書記

堺 壽治

林 重壽

堺 壽治

花房 凌靜

阪本八十四郎

和田 銳夫

兒玉桂之助

奥 秀太郎

野口 一夫

岡本勝次郎

履

粉河中學校助教諭心得

粉河中學校教諭

粉河中學校教諭

粉河中學校教諭

粉河中學校教諭

粉河中學校教諭

履

○ 通 牒 照 會

○ 通 牒

地第一七八號ノ一

郡市長 殿

町村役場御中

内務部長

大阪市火災救済ノ爲左ノ通寄贈品無貨輸送候旨鐵道院ヨリ申越候趣ヲ以テ其筋ヨリ通牒有之候條
寄贈ノ向有之候ハハ期間内無洩送付方御取計相成度

配

- 一、大小荷物 (配達ヲ爲サス)
- 一、託送者 行 政 廳
- 一、荷受人 大阪府知事又ハ大阪市長
- 一、發 驛 着驛ト大小荷物ノ取扱ヲ爲スヘキ院線各驛所
- 一、着 驛 大阪、湊町
- 一、期 間 自本月十七日自本月末日

町村吏員ノ異動

○明治四十五年一月十九日認可

西牟婁郡栗栖川村助役 山本 恒七

○ 觀 象

自一月十六日至一月十八日氣象

(和歌山測候所觀測)

種 目	一月十六日		一月十七日		一月十八日	
	前	本	前	本	前	本
平均氣壓	七六六耗四	七六三耗一	七六七耗六	七六五耗一	七六六耗〇	七六四耗八
平均氣溫	三度二	三度六	二度八	三度三	三度八	四度九
最高氣溫	七度四	七度〇	八度七	七度〇	七度九	一〇度二
最低氣溫	〇度四	二度〇	冰点下一度三	冰点下〇度五	〇度一	冰点下〇度三
最多風向	北	西北四	北四	西北四	北四	西北四
平均風力	四米八	七米四	二米四	二米七	二米八	二米九
天 氣	半晴	晴	晴	曇后晴	曇	晴
降水量						
記事雜象	曉間結霜	午前十時四方ノ強風吹夕午后五時廿分二十秒微霰	曉間結霜夜間月華ヲ映ス	曉間結霜	曉間結霜并ニ月華ヲ映ス	曉間結霜

明治四十五年一月十七日印刷
明治四十五年一月十八日發行
(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

印刷所 和歌山市北休賀町六番地 宗七
印刷所 和歌山市北休賀町六番地 宗七